Ａ演題名（日本語）

Title （英語)

著者11）、著者22）、、、、

1）著者1所属、2）著者2所属、、、、

----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Author 11), Author 22)

1）Organization 1, 2）Organization 2

----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Ａ演題名

管理番号：

（著者欄　　　空欄　　　　　　**査読のために本頁には著者名・所属を記載しないでください**　）

（著者所属欄　空欄　　　　　　**著者・所属欄の行数分を空欄としてください。**　　　　　　　　）

要旨

400字程度で記載して下さい。英文要旨がある場合は、省略してかまいません。

キーワード：（５つ以内）

----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Title

（著者欄　　　空欄　　　　　　**査読のために本頁には著者名・所属を記載しないでください**　）

（著者所属欄　空欄　　　　　　**著者・所属欄の行数分を空欄としてください。**　　　　　　　）

Abstract (about 800 letters)

英文原稿の場合は必須です。

Keywords(within 5 words): (日本語論文・英語論文ともに必須です。)

----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# １．はじめに

研究論文の場合は、原則として、はじめに、方法、結果、考察、まとめ、参考文献の順に記してください１）。

4ページ以内に収まるように記載して下さい。

最後のページに図表だけをまとめて記載していただいても結構です。

# ２．方法

図表は適宜挿入してください。

画・音声ファイルの挿入はご遠慮下さい。

また図・表でサイズが著しく大きいものは、扱いかねる場合があります。

# ３．結果

図表は適宜挿入してください。

動画・音声ファイルの挿入はご遠慮下さい。

図・表でサイズが著しく大きいものは、扱いかねる場合があります。

# ４．考察

図表は適宜挿入してください。

動画・音声ファイルの挿入はご遠慮下さい。

また図・表でサイズが著しく大きいものは、扱いかねる場合があります。

５．まとめ

本文内容を簡潔にまとめて記載して下さい。

**利益相反**

**利益相反状況をご記入ください。**

**（申告すべき利益相反状況は無い他）**

**研究補助金等の提示**

**研究補助金等を受けた研究の場合、補助金名称をご記入ください。。**

謝辞

必要に応じてご記入下さい。

参考文献（以下は表記例）

1) 神谷誠，郡隆之，新井桃子，他．Web データベースシステムを用いた静止画像テレパソロジー．日本遠隔医療学会雑誌　2006；2(1)：27－32．

2) Pantanowitz L, Dickinson K, Evans AJ, et al. American Telemedicine Association clinical guidelines for telepathology. J Pathol Inform. 2014;5:39.

3) 大腸癌研究会編．大腸癌取り扱い規約，第7版．東京：金原出版，2006．

4) 神谷　誠．群馬大学医学系研究科病態病理学．Webを利用した遠隔病理診断支援システムの開発およびその有効性と限界．（2007年1月4日引用）．URL: <http://www.medical-e.net/telemedicine/telepath/93path.pdf>

5) 松崎竜児，山本乃之，逢坂公一．病院間データ連動を活用した在宅透析管理ネットワークシステムの有用性．日本医療情報学会　第31回医療情報学連合大会論文集　2011：775－778．

6) 小川晃子，狩野徹，佐々木淳，他．ICTを活用した高齢者生活支援型コミュニティーづくりプロジェクト実践報告．岩手県立大学社会学部紀要　2011；13：65－69．

7) 厚生省健康政策局．情報通信機器を用いた診療（いわゆる「遠隔診療」）について．1997年（2011年一部改正）；健政発第1075号．

8) 個人情報の保護に関する法律．2003年；第57号：第3章第2節第8条．

【参考文献の表記方法について】

1．著者名

　日本語の場合も英語の場合も、著者は3名以内の記載にしてください。

3名以上にわたる場合は、例として

 日本語→森田浩之，酒巻哲夫，山田桃子，他．

 英語→Morita H, Sakamaki T, Yamada M et al.

 という記述にして下さい。

2．雑誌に関する表記 【表記例1), 2)】

日本語→著者名．タイトル．雑誌名　発行年；版：ページ．　（ピリオド、コロン、スペースは全角）

英語→Author. Title. Name of the journal Year; Edition: Page.

 　（ピリオド、コロン、スペースは半角）

3．書籍に関する表記 【表記例3)】

日本語→著者名．書籍名，版．出版都市：出版社，発行年．　　（ピリオド、コロン、スペースは全角）

英語→Author. Title, Edition. City, Nation: Name of the press, Year; Page.

 　（ピリオド、コロン、スペースは半角）

4．ホームページに関する表記 【表記例4)】

日本語→著者名．所属機関名．題名．（引用した年月日）．URL: <http://www.----------->.

英語→Author. Institution. Title. [homepage on the internet]. (Cited date). Available from URL: http://www.-----------.

5．大会論文集（大会抄録集）に関する表記【表記例5)】

　日本語→著者名．タイトル．学会名　第○回○○大会論文集　発行年：ページ．

（ピリオド、コロン、スペースは全角）

6．大学紀要（学校紀要）に関する表記 【表記例6)】

日本語→著者名．タイトル．○○大学○○学部紀要　発行年；第○巻第○号（：ページ）．

　　（ピリオド、コロン、スペースは全角）

7．省庁（都道府県）の通知類に関する表記【表記例7)】

管理番号：

日本語→○○省○○局（△△県△△課）．タイトル．発行年；文書番号（：ページ）．

（ピリオド、コロン、スペースは全角）

8．法令類に関する表記は【表記例8)】

日本語→法令名．発行年；法律番号：関係条項番号．

　　（ピリオド、コロン、スペースは全角）

**著者名（和文・英文）のスペースを含めて、4ページ以内の仕上がりとしてください。**

**A演題原稿作成に関するチェックリスト（執筆者向け）**

1. **本ページは仕上がりに入りません。**
2. **右欄にはい、いいえ、該当無 を記入して、原稿を確認してください。**
3. **投稿時に削除せず、ご提出ください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 確認事項 | 回答欄 |
| 遠隔医療に直結もしくは関連した研究である。 | はい、いいえ |
| 査読を受け、修正・不採択等の指示があり得ることを理解している。 | はい、いいえ |
| 論文の投稿に関する不正行為（ねつ造、改ざん、盗用、多重投稿等）をしていない。 | はい、いいえ |
| 臨床研究に関する投稿である。 | はい、いいえ、該当無 |
|  | ヘルシンキ宣言（ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則，1964年6月世界医師会総会）を基礎として厚生労働省・文部科学省の臨床研究に関する倫理指針，疫学研究に関する倫理指針に準拠している。 | はい、いいえ、該当無 |
| 被験者からのインフォームドコンセントおよび施設内倫理委員会による研究計画の承認を必要に応じて受け，承認されたことを原稿中に明記した。　（承認番号等） | はい、いいえ、該当無 |
| 症例報告である。　 | はい、いいえ、該当無 |
|  | 関係者の人格権を尊重し，報告する内容の説明を行い、同意を得ている。 | はい、いいえ、該当無 |
| A演題投稿申込書に必要事項を全て明記して提出した。 | はい、いいえ |
|  | 学術雑誌投稿申込書を誤って使用していない。（大会ホームページから書式をダウンロードした。） | はい、いいえ |
| 責任著者および全著者が投稿資格を満たしている。 | はい、いいえ |
| 利益相反（COI）報告や著作権確認をした。　 | はい、いいえ |
| A演題投稿書式を用いて原稿作成した。 | はい、いいえ |
|  | 学術雑誌投稿書式を誤って使用していない。（大会ホームページから書式をダウンロードした。） | はい、いいえ |
| 書式の指示に従って原稿を作成した。 | はい、いいえ |
| 著者名空欄などの指示（赤字）を遵守した。 | はい、いいえ |
| 書式にある項立て（はじめに、方法、結果、考察、まとめ）に沿って原稿を作成した。 | はい、いいえ |
| 結果の項に考察を記載していない。 | はい、いいえ |
| 利益相反（COI）の状況を記載した。 | はい、いいえ |
| 適宜参考文献を参照した。　本文中に参照番号を記載した。 | はい、いいえ |
| 表紙を除いて４ページ以内に収めた。（できあがりが４ページ以内に収まった。） | はい、いいえ |
| 字数は多すぎない。図表は多すぎない。　（仕上がり２またや４ページ） | はい、いいえ |
| タイトルは適切であり、研究内容を明確に表している。 | はい、いいえ |
| 英文タイトルは適切であり、ネイティブチェックを受けた。 | はい、いいえ |
| 要旨を英文で記載した。ネイティブチェックを受けた。 | はい、いいえ |